

# 令和7年度第2回大船渡市学校支援活動運営委員会

日 時：令和7年11月19日（水）午後3時  
場 所：大船渡市役所 教育委員会会議室

次 第

1 開 会

2 挨 捶

3 協 議

協議第1号 令和7年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

4 そ の 他

5 閉 会

## 大船渡市学校支援活動運営委員会委員名簿

任期：令和7年6月20日～令和9年6月19日

役 職	氏 名	区 分	所属等	任 用
委員長	菊 池 康 幸	学校教育関係者	立根小学校校長	新任
副委員長	紀 室 浩	学識経験者	元末崎小学校教諭	再任
委員	中 村 明 彦	学校教育関係者	第一中学校副校長	新任
委員	岡 崎 充 博	社会教育関係者	吉浜小学校 PTA	新任
委員	菅 原 優 子	家庭教育関係者	前海の星幼稚園園長	再任

## 協議第1号 令和7年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

令和7年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について、大船渡市学校支援活動運営委員会設置要綱第2第2項の規定に基づき、意見を求める。

令和7年11月19日

大船渡市学校支援活動運営委員会

委員長 菊池康幸

## 1 家庭教育学級について

### (1) 令和7年度家庭教育学級事業一覧表（令和7年10月31日現在）

	園名	実施日時	学習内容	講師	参加者数
1	日頃市保育園	7月5日(土) 9:30~10:30	ストレッチ講座	大船渡パレエ教室 中村 愛 氏	75人
2	末崎こども園	8月30日(土) 9:30~10:30	ストレッチ講座	大船渡パレエ教室 中村 愛 氏	25人
3	大船渡保育園	11月18日(火) 10:00~11:00	腸活について	腸活講師 岩沼 千央 氏	
4	明和保育園	12月6日(土) 9:00~10:40	3B体操	公益社団法人日本3B体操協会 公認指導者 小平潟 かおる 氏 公認指導者 泉田 恵子 氏	
5	あかさきこども園	1月26日(月) 9:10~11:00	ストレッチ講座	大船渡パレエ教室 中村 愛 氏	

### (2) 令和7年度家庭教育学級アンケート集計結果（令和7年10月31日現在）

○参加人数 100人（うち保護者56人）

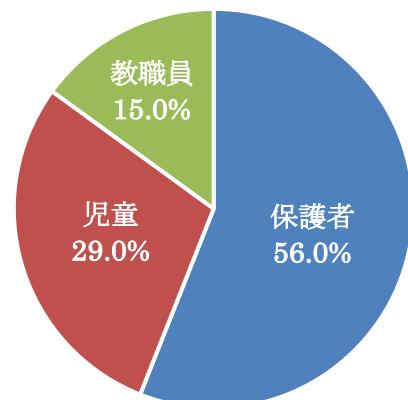
○アンケート回収数 29件（回収率64.4%）

※園児はアンケート対象外。日頃市保育園では1人の園児に対し1枚提出。

※端数処理により比率の計が100%にならない場合があります。

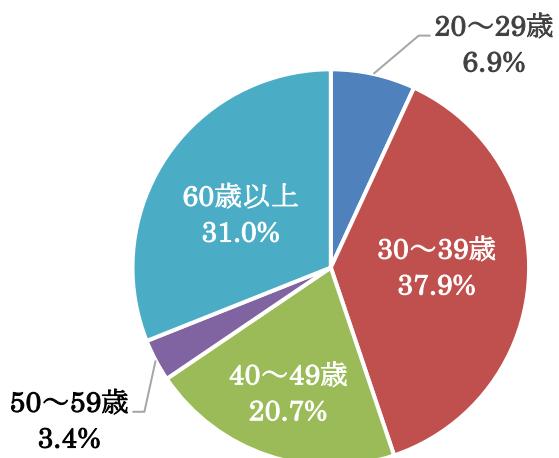
成果指標	目標	実績	達成率
学習内容の満足度	80.0%	96.6%	120.8%
1カ所あたりの前年度比参加人数 R6:106.1人 (743人/7カ所)	前年度比同数以上	50人 (100人/ 2カ所)	47.1%
学習内容の家庭の取組意欲	80.0%	96.6%	120.8%
学習内容の理解度	80.0%	93.1%	116.4%

参加者内訳	年代	人数	比率
	保護者	56	56.0%
園児・児童・生徒	29	29.0%	
教職員	15	15.0%	
地域関係者	0	0.0%	
計	100	—	



### Q 1. 参加者の年齢

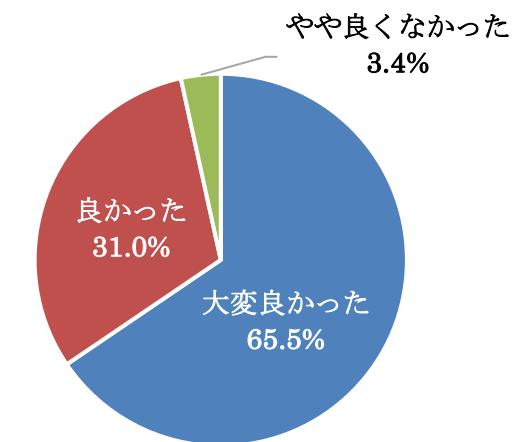
年代	人数	比率
20歳未満	0	0.0%
20～29歳	2	6.9%
30～39歳	11	37.9%
40～49歳	6	20.7%
50～59歳	1	3.4%
60歳以上	9	31.0%
無回答	0	0.0%
計	29	—



「30～39歳」「60歳以上」の参加が多かった。

### Q 2. 学級に参加した感想（満足度）

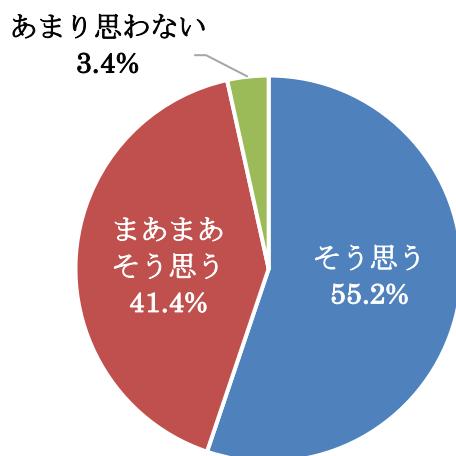
評価	人数	比率
大変良かった	19	65.5%
良かった	9	31.0%
やや良くなかった	1	3.4%
良くなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	29	—



大多数の人が「大変良かった」「良かった」と回答している。

### Q 3. 学習内容への取組意欲

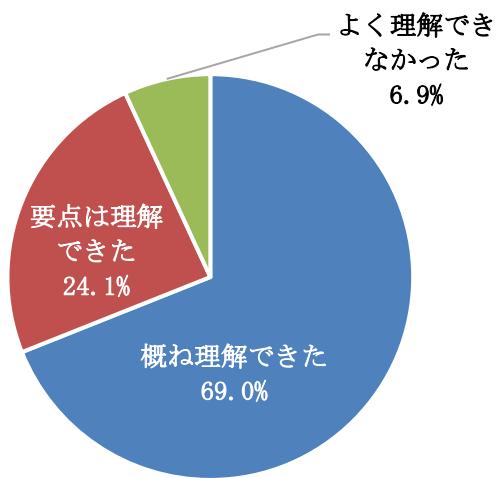
取組意欲	人数	比率
そう思う	16	55.2%
まあまあそう思う	12	41.4%
あまり思わない	1	3.4%
思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	29	—



今回の学習内容について、96.6%の人が家庭で取り組む意欲があると回答している。

#### Q 4. 内容の理解度

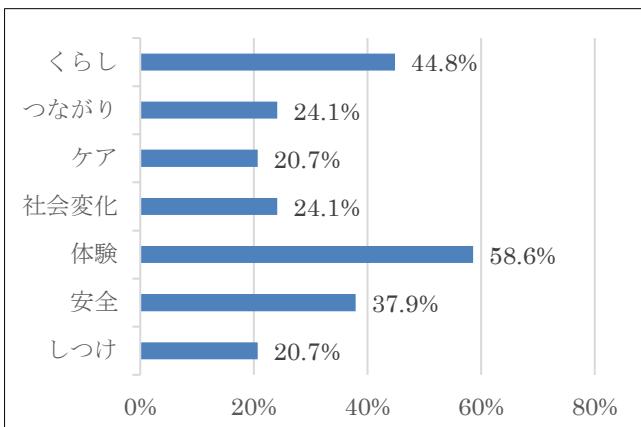
理解度	人数	比率
概ね理解できた	20	69.0%
要点は理解できた	7	24.1%
よく理解できなかつた	2	6.9%
全く理解できなかつた	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	29	—



93.1%の人が学習内容を理解できたと回答している。

#### Q 5. 家庭教育学級で希望するテーマ（複数回答）回答者数 29 人

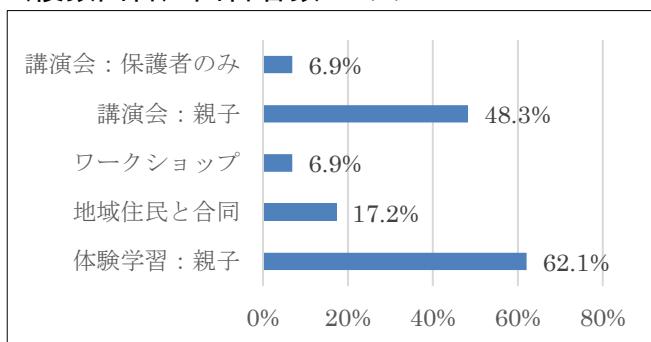
希望テーマ	人数	比率
くらし	13	44.8%
つながり	7	24.1%
ケア	6	20.7%
社会変化	7	24.1%
体験	17	58.6%
安全	11	37.9%
しつけ	6	20.7%



生活習慣や健康管理等のくらし、スポーツや文化等の体験をテーマにした内容を希望する声が多い。

#### Q 6. 家庭教育学級で希望する学習形態（複数回答）回答者数 29 人

学習形態	人数	比率
講演会：保護者のみ	2	6.9%
講演会：親子	14	48.3%
ワークショップ	2	6.9%
地域住民と合同	5	17.2%
体験学習：親子	18	62.1%



親子での講演会・体験学習を希望する回答が多い。

## Q 7. 自由記載(抜粋)

### (1) ストレッチ講座（日頃市保育園）

- ・やはり体を動かすのはいいなあと思いました。小学生になってもできそうだと思ったので参考にさせていただきます。

### (2) ストレッチ講座（末崎こども園）

- ・ストレッチもいろいろありますが、私でも入りやすくて、それでいて体に良い感じで効いていると思いました。とても良かったです。ありがとうございました。
- ・今日はとても楽しかったです。また今度あったら参加したいと思いました。本当にありがとうございました。
- ・孫と一緒に楽しめるストレッチ講座、良かったです。

## 令和7年度家庭教育学級講座写真

### 1 日頃市保育園



### 2 末崎こども園



## 2 家庭教育学級（英語スクール）について

### (1) 令和7年度家庭教育学級（英語スクール）事業一覧表（令和7年10月31日現在）

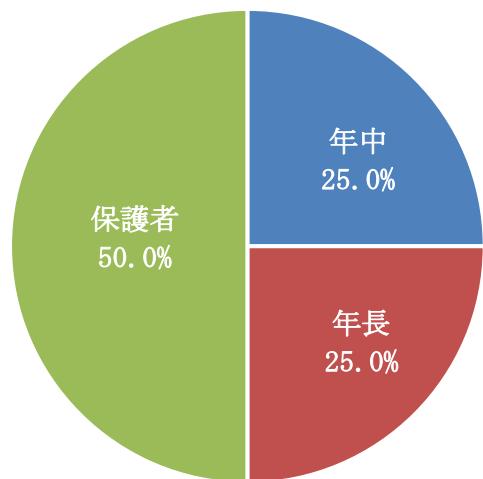
	実施日時	学習内容	講 師	定 員	参加者数	場 所
1	6月21日(土) ①未就学児(年中) 9:30~10:30 ②未就学児(年長) 11:00~正午	英語に触れる活動 (英会話・ゲーム・歌・ダンスなど)	佐藤英会話 高畠 友紀 氏 本間 理子 氏	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)	12組24人 (①6組12人、 ②6組12人)	カメリアホール 多目的ホール
2	11月15日(土) ①未就学児 9:30~10:30 ②小学1、2年生 11:00~正午	英語に触れる活動 (英会話・ゲーム・歌・ダンスなど)	佐藤英会話講師	20組40人 (①10組20人、 ②10組20人)		カメリアホール 多目的ホール

### (2) 令和7年度家庭教育学級「英語体験教室」アンケート集計結果（令和7年10月31日現在）

成果指標(全2回中1回の値)	目 標	実 績	達成率	備考
定員に対する参加率	80.0%	60.0%	75.0%	
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイディアを考えたり、工夫したりするようになった」と回答した保護者の割合	50.0%	50.0%	100.0%	
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した保護者の割合	80.0%	100.0%	125.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業参加者数 24人</li> <li>○アンケート対象者数 12人 (保護者)</li> <li>○アンケート回収数 12通 (回収率 100%)</li> <li>○講座内訳 第1回 参加 12組 24人 (定員 20組 40人)</li> </ul>

#### Q 1. 参加者の学年

項目	人数	比率
年中	6	25.0%
年長	6	25.0%
保護者	12	50.0%
無回答	0	0.0%
計	24	100.0%

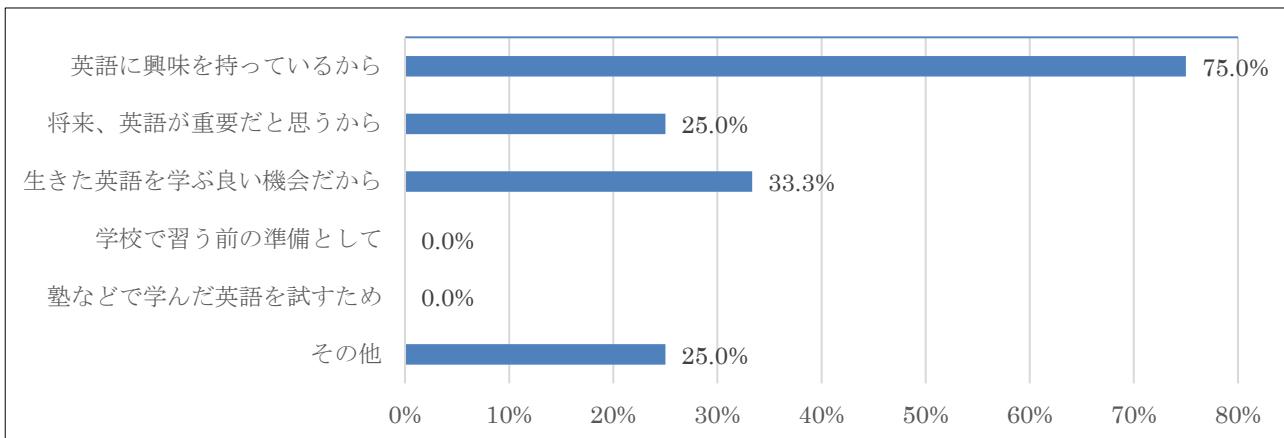


年中児と年長児の参加者は同数となった。

## Q 2. 参加理由（複数回答）回答者数 12 人

項目	人数	比率
英語に興味を持っていたことから	9	75.0%
将来、英語が重要だと思うから	3	25.0%
生きた英語を学ぶよい機会だから	4	33.3%
学校で英語を習う前の準備として	0	0.0%
塾などで学んだ英語を試すため	0	0.0%
その他	3	25.0%

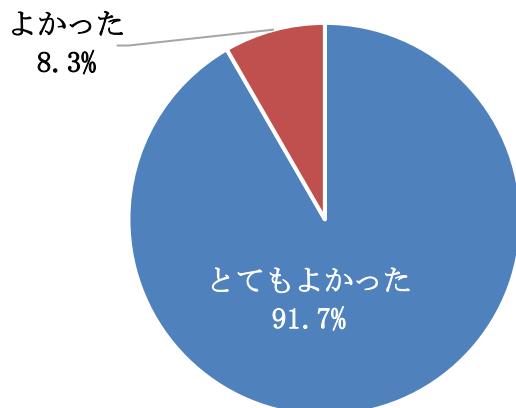
※その他回答は、「本人がやってみたいと意欲的だったから」「本人が英語に興味があるから」「英語でほかの国の人と話すのは楽しいから」



保護者からの回答で最も多いのは、「英語に興味を持っているから」で、次いで「生きた英語を学ぶよい機会だから」となった。

## Q 3. 講座の感想

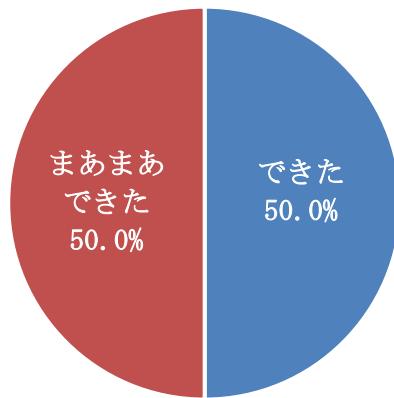
項目	人数	比率
とてもよかったです	11	91.7%
よかったです	1	8.3%
あまりよくなかったです	0	0.0%
よくなかったです	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	12	100.0%



全ての参加者から「とてもよかったです」「よかったです」と回答いただき、満足度が高い結果となつた。

#### Q 4. 学習意欲

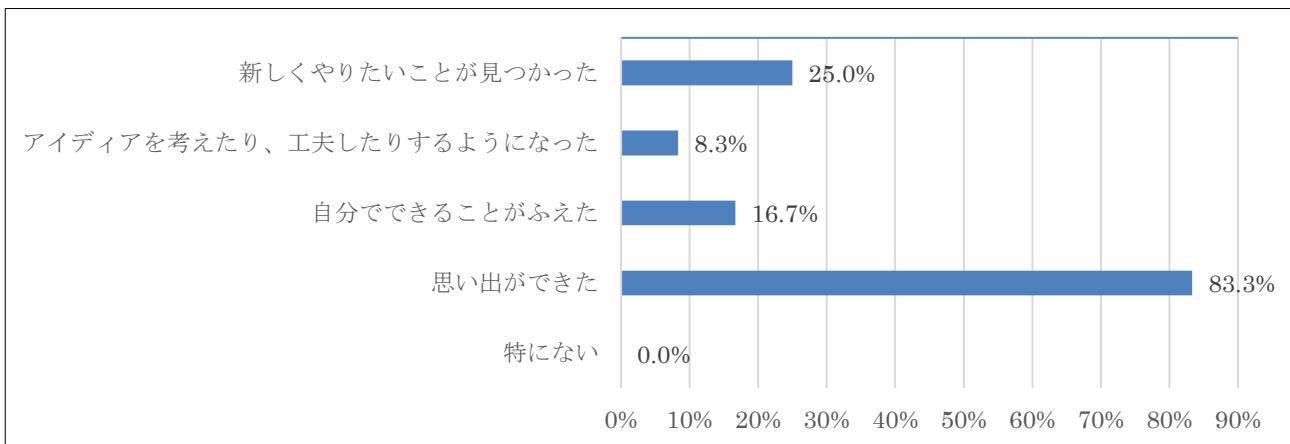
項目	人数	比率
意欲的に取り組むことができた	6	50.0%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	6	50.0%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	0	0.0%
意欲的に取り組むことができなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	12	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」、「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した人の割合が100%となり、目標値の80%を上回った。

#### Q 5. 講座に参加したことによる変化（複数回答）回答者数12人

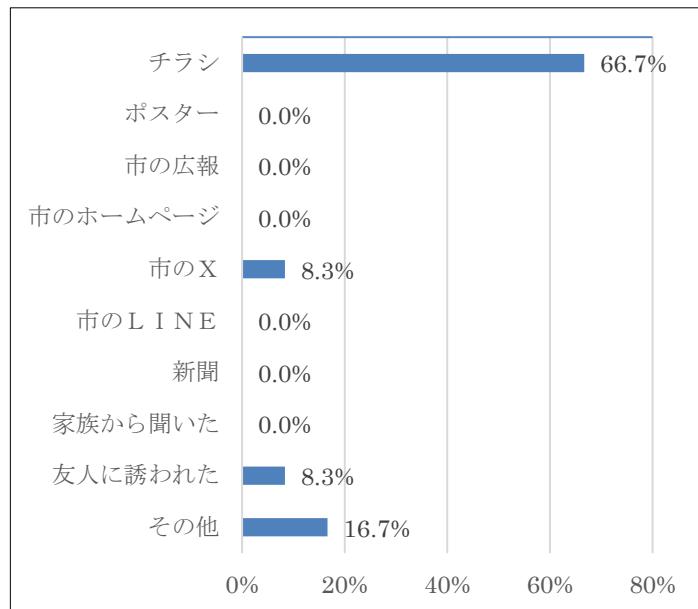
項目	人数	比率
新しくやりたいことが見つかった	3	25.0%
アイディアを考えたり、工夫したりするようになった	1	8.3%
自分でできることがふえた	2	16.7%
思い出ができた	10	83.3%
特になし	0	0.0%



「思い出ができた」が83.3%となり、次いで「新しくやりたいことが見つかった」となった。「新しくやりたいことが見つかった」に加え、「アイディアを考えたり、工夫したりするようになった」「自分でできることがふえた」についても、時代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となっていることから、今後はこの項目を選択する人の割合が増えることが望ましい。

### Q 6. 講座を何で知ったか(複数回答)回答者数 12 人

項目	人数	比率
チラシ	8	66.7%
ポスター	0	0.0%
市の広報	0	0.0%
市のホームページ	0	0.0%
市のX	1	8.3%
市のLINE	0	0.0%
新聞	0	0.0%
子どもから聞いた	0	0.0%
友人に誘われた	1	8.3%
その他	2	16.7%



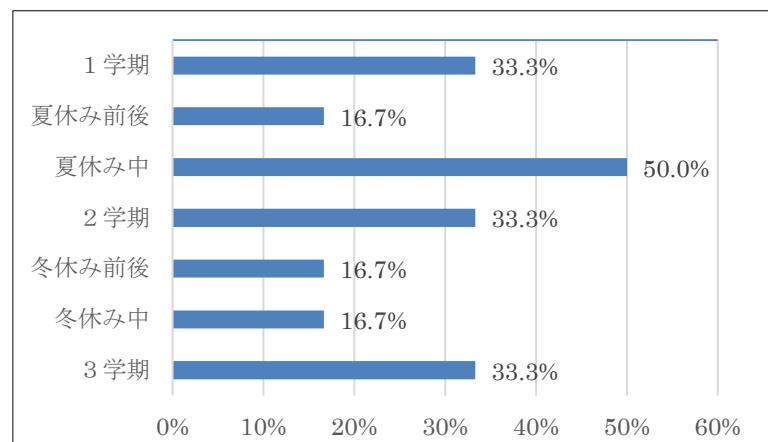
※その他回答は、「保育園からのチラシ」(2人)

市内のことども園等を通じて、対象園児全員にチラシを配布した効果が大きい。次年度以降も継続して進めていきたい。

### Q 7. 講座に参加しやすい時期(複数回答)回答者数 12 人

【あてはまるものは全て選ぶ】教室に参加しやすい時期を教えてください。

項目	人数	比率
1学期	4	33.3%
夏休み前後	2	16.7%
夏休み中	6	50.0%
2学期	4	33.3%
冬休み前後	2	16.7%
冬休み中	2	16.7%
3学期	4	33.3%



比較的参加しやすいと思われる「夏休み中」の割合が最も高かった。

### Q 8. 自由記載欄(抜粋)

- ・先生方も優しく、子どもも楽しそうに参加していました。もう1回行きたいと言っていました。  
(年中保護者)
- ・英語に興味を持っていたので、これからも英語に触れさせたいです。(年中保護者)
- ・少し恥ずかしがり屋なところがありますが、楽しそうに参加していて良かったです。家でも少しずつ英語を取り入れていきたいです。(年長保護者)
- ・恥ずかしがるところもあったが、楽しそうにやっていたので参加して良かった。(年長保護者)
- ・親子で英語の勉強を楽しくできて良かったです。(年長保護者)

令和7年度家庭教育学級（英語スクール）「英語体験教室」講座写真



### 3 青少年体験学習事業について

#### (1) 令和7年度青少年体験学習事業一覧表（令和7年10月31日現在）

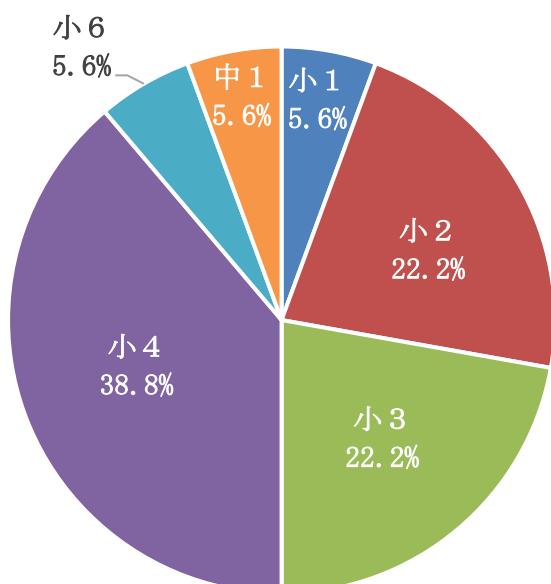
	実施日時	学習内容	講 師	定 員	参加者数	場 所
1	7月13日（日） 10:00～11:30	こども科学 実験教室	明治大学理工学部 准教授 本多 貴之 氏	20人	18人	カメリア ホール
2	12月21日（日） 10:00～11:30	こども鑑識 体験教室	大船渡警察署員	20人		大船渡 警察署

#### (2) 令和7年度青少年体験学習事業アンケート集計結果（令和7年10月31日現在）

成果指標(全2回中1回の値)	目 標	実 績	達成率	○事業参加者数 18人 ○アンケート回収数 18通 (回収率100%)
定員に対する参加率	80.0%	90.0%	112.5%	
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイディアを考えたり、工夫したりすることが楽しかった」と回答した参加者の割合	50.0%	94.4%	188.9%	
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	100.0%	125.0%	

#### Q1. 参加者の学年

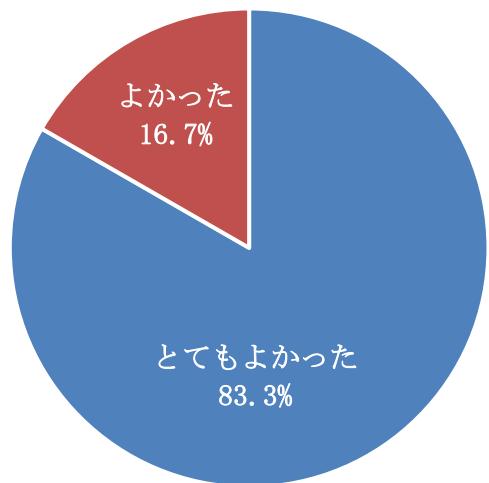
項目	科学教室	比率
小1	1	5.6%
小2	4	22.2%
小3	4	22.2%
小4	7	38.8%
小5	0	0.0%
小6	1	5.6%
中1	1	5.6%
中2	0	0.0%
中3	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	18	—



小中学生を対象に参加者の募集を行ったが、参加者の多くは小学校中学年となった。中学生は1人の参加となった。最終学年（中3）の参加は難しいと思われるが、引き続き中学生の学習ニーズと合致した体験学習も提供できるよう努めたい。

## Q 2. 講座の感想

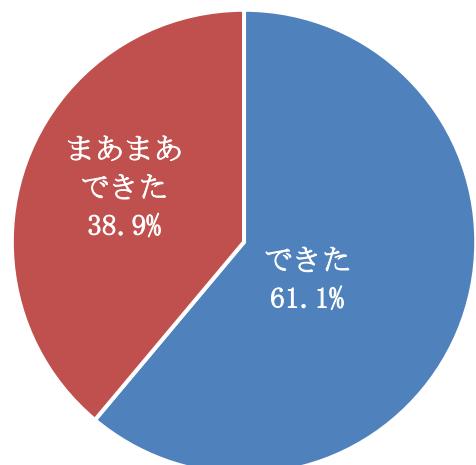
項目	科学教室	比率
とてもよかったです	15	83.3%
よかったです	3	16.7%
あまりよくなかったです	0	0.0%
よくなかったです	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	18	100.0%



参加者全員が「とてもよかったです」「よかったです」と回答しており、満足度が高い結果となった。

## Q 3. 学習意欲

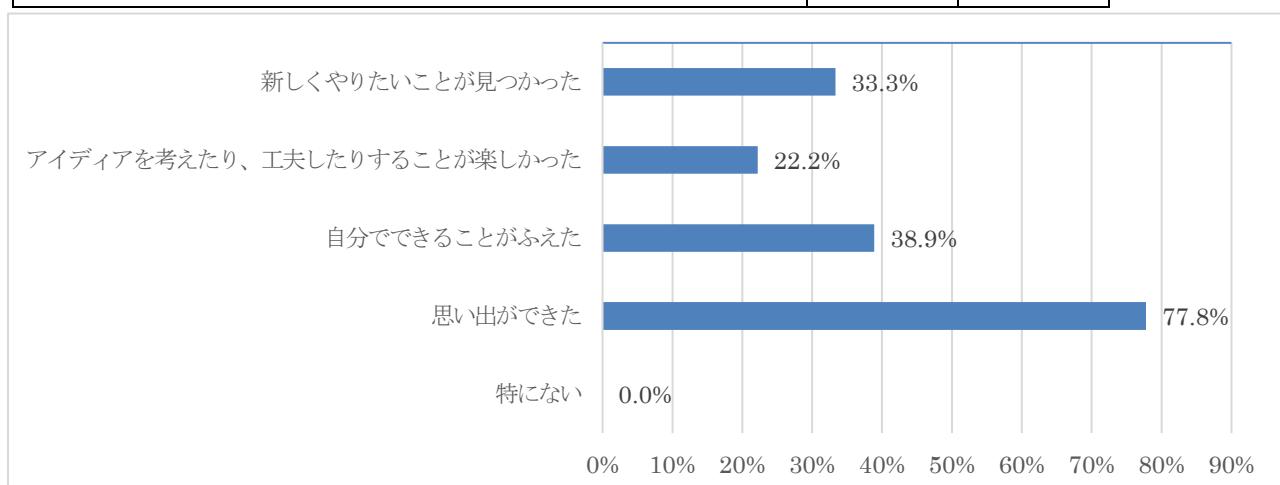
項目	科学教室	比率
自分から進んで取り組むことができた	11	61.1%
自分から進んで取り組むことがまあまあできた	7	38.9%
自分から進んで取り組むことがあまりできなかった	0	0.0%
自分から進んで取り組むことができなかつた	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	18	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合が100%となり、目標値である80%を上回ることができた。

Q 4. 講座に参加したことによる変化（複数回答） 回答者数 18 人

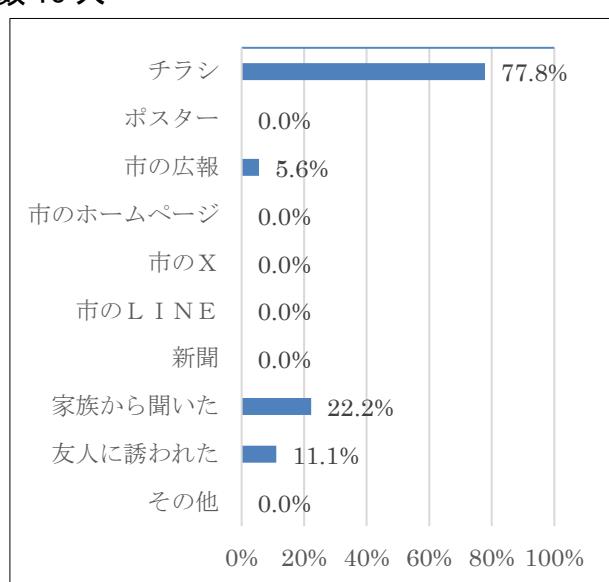
項目	科学教室	比率
新しくやりたいことが見つかった	6	33.3%
アイディアを考えたり、工夫したりすることが楽しかった	4	22.2%
自分でできることがふえた	7	38.9%
思い出ができた	14	77.8%
特はない	0	0.0%



最も選択回答の数が多かった項目は「思い出ができた」であったが、「新しくやりたいことが見つかった」「アイディアを考えたり、工夫したりすることが楽しかった」「自分でできることがふえた」の合計の割合が 94.4% となり、これから時代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となる項目を一定数の参加者が選択したことは、本事業の成果が表れたものと考えられる。

Q 5. 講座を知った媒体(複数回答) 回答者数 18 人

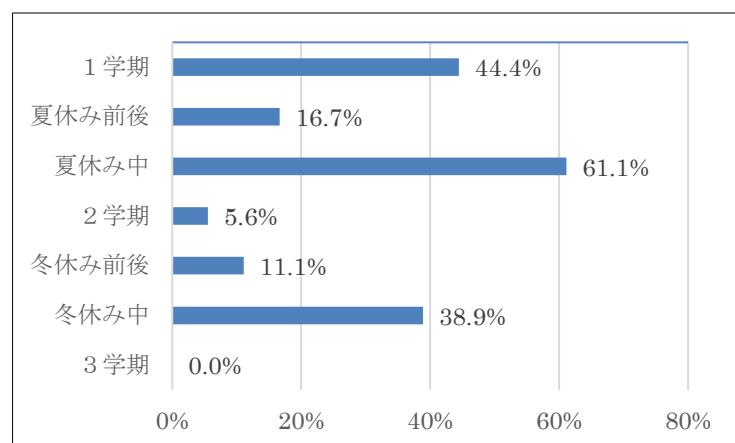
項目	科学教室	比率
チラシ	14	77.8%
ポスター	0	0.0%
市の広報	1	5.6%
市のホームページ	0	0.0%
市のX	0	0.0%
市のLINE	0	0.0%
新聞	0	0.0%
家族から聞いた	4	22.2%
友人に誘われた	2	11.1%
その他	0	0.0%



市内の小中学校を通じて、対象児童生徒全員にチラシを配布したことから、多くの参加者が「チラシ」を見ての申込みであった。

## Q 6. 講座に参加しやすい時期（複数回答）回答者数 18 人

項目	科学教室	比率
1 学期	8	44.4%
夏休み前後	3	16.7%
夏休み中	11	61.1%
2 学期	1	5.6%
冬休み前後	2	11.1%
冬休み中	7	38.9%
3 学期	0	0.0%



半数以上が「夏休み中」の長期休み中を希望している。実施時期や学習内容などの調査結果を踏まえて、計画の立案に努めたい。

## Q 7. 自由記載欄（抜粋）

- ・ごみがリサイクルできる瞬間、過程を体験することができて良かった。（小2）
- ・（子）小さいものが苦労して作られていることが知れた。（親）子どもが実験が好きだが、何をどうしたらいいか困っていたため、機会を作っていただけて良かった。（小2）
- ・発泡スチロールが液体に溶けて不思議に思った。（小3）
- ・次はほかの実験もしてみたいです。ぼくが大人になってもリサイクルをしたいと思います。（小3）
- ・発泡スチロール以外にも溶かせるかどうかやってみたい。（小3）
- ・楽しかったから、またやりたい。もっといろいろなことを知りたい。（小4）
- ・参加して楽しかったから、次やるときがあつたら、違う内容でやりたいです。（小4）
- ・プラスチックの性質についてよく分かった。（中1）

## 令和7年度青少年体験学習事業「こども科学実験教室」講座写真



## 4 スクールガード配置事業について

### (1) 令和7年度スクールガード配置事業実施状況

各校の状況に応じ、次のとおり配置している。

- ・引率型：盛小、大船渡小、末崎小、日頃市小、大船渡北小、綾里小、吉浜小
- ・通学路巡回型：赤崎小、猪川小、立根小、日頃市小
- ・スクールバス添乗型：赤崎小

学校名	人数（人）		R 7 合計活動時間 (4月～9月分)	R 6 合計活動時間 (4月～9月分)	備考
	R 7	前年 度比			
盛小学校	2	▲2	69 時間 30 分	126 時間 00 分	1人謝金辞退
大船渡小学校	4	—	719 時間 30 分	728 時間 30 分	
末崎小学校	2	1	83 時間 00 分	51 時間 15 分	
赤崎小学校	2	—	395 時間 30 分	409 時間 00 分	
猪川小学校	1	—	107 時間 45 分	122 時間 45 分	
立根小学校	2	—	353 時間 00 分	398 時間 00 分	
日頃市小学校	3	—	462 時間 00 分	417 時間 30 分	
大船渡北小学校	4	—	346 時間 45 分	377 時間 30 分	
綾里小学校	3	—	330 時間 00 分	366 時間 00 分	
越喜来小学校	0	—	—	—	
吉浜小学校	1 2	—	73 時間 45 分	100 時間 00 分	7人謝金辞退
第一中学校	0	—	—	—	
大船渡中学校	0	▲3	—	—	
東朋中学校	0	—	—	—	
合 計	3 5	▲4	2, 940 時間 45 分	3, 096 時間 30 分	

#### [取組状況]

- ・児童の登下校時の安全を確保するため、市内小学校 10 校にスクールガードを配置した。

#### [今後の取組]

- ・10 月から、新たに大船渡中でスクールガード（3 人）が配置されている。
  - ・標記事業の状況を把握するため、スクールガード及びその配置校の保護者を対象としたアンケート調査を実施する。（令和8年1月予定）
- ※ 内容は、スクールガードの認知度、継続希望、登下校の安全が保たれているか等

## 5 学校支援事業について

### (1) 令和7年度学校支援事業実施状況（地域コーディネーター）

配置場所	人数（人）		R 7 合計活動時間 (4月～9月分)	R 6 合計活動時間 (4月～9月分)	備考
	R 7	前年 度比			
盛小学校	1	—	0時間00分	0時間00分	1人謝金辞退
大船渡小学校	1	—	0時間00分	2時間00分	
末崎小学校	1	—	0時間00分	1時間00分	
赤崎小学校	1	—	23時間45分	10時間45分	
猪川小学校	1	—	0時間00分	4時間00分	
立根小学校	1	—	4時間15分	4時間15分	
日頃市小学校	1	—	3時間15分	2時間30分	
大船渡北小学校	1	—	6時間45分	16時間00分	
綾里小学校	1	—	0時間00分	3時間00分	
越喜来小学校	1	—	2時間00分	10時間15分	
吉浜小学校	1	—	4時間15分	0時間00分	
第一中学校	0	—	—	—	
大船渡中学校	0	▲1	—	0時間00分	
東朋中学校	1	—	0時間00分	0時間00分	
生涯学習課	1	—	4時間30分	2時間00分	
合 計	13	▲1	48時間45分	55時間45分	

※ 複数校を兼務する地域コーディネーターがいるため、総数と異なる。

※ 地域コーディネーター登録者数：11人

#### [取組状況]

- ・学校の授業（調理実習、裁縫、水生生物調査、復興教育・防災学習等）や、総合学習（社会科見学、生け花教室、昔遊び等）において、ボランティアの募集や、地域コーディネーター自身が講師を務める。授業に向けて、ボランティア及び学校との打合せ。
- ・図書支援活動地域ボランティア配置校における、前期分の図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ・選定を行い、発注した。

#### [今後の取組]

- ・今年度から大船渡中学校の地域コーディネーターの配置がなくなったが、配置に向けて学校と調整中。
- ・後期分の図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ・選定を行い、発注する。
- ・図書支援活動地域ボランティア研修会の内容の調整を行う。

(2) 令和7年度学校支援事業実施状況（地域ボランティア）

配置場所	図書支援 人数(人)		金管支援 人数(人)		R 7 合計活動時間 (4月～9月分)	R 6 合計活動時間 (4月～9月分)	備考
	R 7	前年 度比	R 7	前年 度比			
盛小学校	2	—	2	—	156 時間 30 分	173 時間 00 分	2人謝金辞退
大船渡小学校	3	1	0	—	21 時間 30 分	30 時間 30 分	
末崎小学校	4	4	0	—	393 時間 30 分	0 時間 00 分	
赤崎小学校	2	—	0	—	95 時間 15 分	102 時間 00 分	
猪川小学校	4	—	0	—	85 時間 00 分	236 時間 15 分	
立根小学校	2	—	0	—	127 時間 00 分	129 時間 00 分	
日頃市小学校	2	—	0	—	34 時間 00 分	18 時間 00 分	
大船渡北小学校	4	—	0	—	406 時間 45 分	463 時間 00 分	
綾里小学校	4	1	0	—	351 時間 15 分	340 時間 15 分	
越喜来小学校	2	—	0	—	111 時間 45 分	92 時間 30 分	
吉浜小学校	1	—	0	—	62 時間 30 分	58 時間 15 分	
第一中学校	4		0	—	58 時間 30 分	70 時間 00 分	
大船渡中学校	4	—	0	—	306 時間 30 分	145 時間 00 分	
東朋中学校	2	—	0	—	35 時間 15 分	33 時間 45 分	
合 計	40	6	2	0	2,245 時間 15 分	1,891 時間 30 分	

※ 複数校を兼務するボランティアがいるため、総数と異なる。

※ 地域ボランティア登録者数：21人（図書支援：19人、金管支援：2人）

[取組状況]

- ・図書の修繕、図書室の環境整備、金管クラブの指導を実施。

[今後の取組]

- ・図書支援活動地域ボランティア研修会を、立根小学校で開催予定。
- ・研修会の受講者を対象にアンケート調査を実施する。

※ 内容：研修内容の満足度、今後の活動に生かせるか等

## 6 大船渡市学校運営協議会の状況について

### (1) 大船渡市における学校運営協議会の現状

令和4年度より、市内小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施することで、地域と連携した学校づくりを目指している。

学校運営協議会委員は各校15人以内とし、令和7年度は10月現在、全14校で181人が委嘱を受けている。

令和7年度は、各小中学校年2回以上協議会を開催すること、熟議を1回以上実施することを目標としている。

### (2) 令和7年度の各学校における学校運営協議会の実施及び予定

学校名	学校運営協議会日程	熟議
盛小学校	1回目 6月11日(水) 2回目 11月19日(水) 3回目 2月25日(水) 予定	11月予定
大船渡小学校	1回目 5月1日(木) 2回目 6月20日(金)※ 3回目 11月27日(木) 予定 4回目 2月26日(木) 予定	6月「地域と連携した教育活動について」 11月「子どもたちに身につけたい生活習慣について」(仮)
末崎小学校	1回目 6月24日(火) 2回目 9月19日(金)※ 3回目 11月11日(火) 予定 4回目 2月24日(火) 予定	6、9月「末崎の子どもたちに育てたい力」「教育振興運動の取組について」 9月「学校の教育活動の要望」
赤崎小学校	1回目 5月12日(月) 2回目 9月10日(水) 3回目 1月9日(金) 予定	9月「まなびフェストから見える学校課題とその改善に向けた取組について」※
猪川小学校	1回目 5月9日(金) 2回目 10月14日(火) 予定 3回目 2月16日(月) 予定	5月「令和7年度学校経営方針、年間行事予定、主な教育活動計画について」
立根小学校	1回目 5月13日(火) 2回目 11月14日(金) 予定 3回目 2月13日(金) 予定	11月予定
日頃市小学校	1回目 6月2日(月) 2回目 9月9日(火) 3回目 2月18日(水) 予定	9月「みんなで築くふるさとひころいち」
大船渡北小学校	1回目 5月14日(水) 2回目 8月29日(金) 3回目 2月18日(水) 予定	8月「学校と地域との連携の在り方について」 ※
綾里小学校	1回目 4月23日(水) 2回目 9月9日(火) 3回目 2月18日(水) 予定	
越喜来小学校	1回目 6月6日(金) 2回目 10月3日(金) 3回目 2月20日(金) 予定	6、9月「漁業まち越喜来 海の恵みを学ぶ機会を増やすにはどのようにしたらよいだろうか」
吉浜小学校	1回目 5月1日(木) 2回目 2月25日(水) 予定	2月予定
第一中学校	1回目 6月3日(火) 2回目 2月6日(金)	未定

学校名	学校運営協議会日程	熟議
大船渡中学校	1回目 5月28日（水） 2回目 9月26日（金） 3回目 1月頃（予定）	9月「新設大船渡中学校が目指す生徒像」
東朋中学校	1回目 6月12日（木）※ 2回目 12月5日（金）予定	未定

### ③ 学校運営協議会の内容例

#### ア 研修会（東朋中学校）

地域住民の学校教育活動へのより良い参画の在り方、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、岩手県教育委員会生涯学習文化財課阿部勲寿主任指導主事から下図のような資料をもとに説明を受け、熟議について理解を深めた。

#### 「熟議」・「協働」・「マネジメント」

学校と地域の人々（保護者・地域住民等）が学校や地域の課題を共有し、共通の目標・ビジョンを持って一体となって地域の子供たちを育んでいくことは、子供の豊かな育ちを確保するとともに、地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもつながります。

そこで、学校運営協議会が設置された学校は、法律や規則で定められた三つの機能に加え、「熟議」の場の設定、「協働」による取組ができる体制、校長の「マネジメント」力を備えておく必要があります。

#### ① 熟 議

子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切です。熟議の実施により、子供たちに関わるより多くの方の意見を取り上げることができます。



#### ② 協 働

「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくことが大切です。（→ 地域学校協働活動等の実施）



#### ③ マネジメント

その中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向かって学校内の組織運営を管理することにとどまらず、地域との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく力が必要です。

#### コミュニティ・スクールにおける熟議について

「熟議」とは、よりよい集団（学校）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものです。  
具体的には、下記のようなプロセスを通して行われた意見交流を指します。

##### 具体的なプロセス（例）

1. 多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
2. 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより、
3. 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
4. それぞれの役割に応じた解決策が練され、
5. 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる



##### 【熟議】の進め方の例（約60分）

###### 熟議のテーマ

- ・ 子ど（例）がどう育ってほしいか
- ・ 学校と地域が一緒にやることは
- ・ いいじめを撲滅するには
- ・ 下校時の安全をどう確保するか
- ・ 学力を向上させるには
- ・ 教育に地域の力をどう生かすか
- ・ 学校と地域の合同運動会について
- ・ あいさつ日本一の町を目指すために
- ・ 地域に貢献できることは
- ・ 郷土学習で何を伝えるか
- ・ メディアとのつきあい方
- ・ 地域の防災について

① オリエンテーション	5分	なぜ、熟議開催に至ったかを改めて確認する。
② テーマに関する資料の共有	5分	テーマについての知識・背景を共有する。
③ 熟議（前半）	20分	自己紹介→意見（思い）をたくさん出す（付箋を利用）。
④ 熟議（後半）	25分	前半で出た意見について、方向性をもって話し合う。
⑤ グループごとの発表	3分	各グループの意見をまとめ、他のグループと交流する。
⑥ 終わりの挨拶	2分	今後の話し合いの場についての確認をする。

参考 山口県 「令和5年度地域連携教育再加速フォーラム」熟議の様子が視聴できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=BE3pnHoVldk>

岩手県生涯学習情報の協システム「まなびネット」

熟議関連ページ



## イ 熟議

(ア) 「地域と関わる体験的な活動の在り方について」(大船渡小学校)

2年「まちたんけん」の内容について熟議した。意見の中では、「児童にカメラをもたせるのは可能か。写真素材を蓄積し、それを持ち寄って話し合うのもよいのではないか。」「見学して終わりではなくその後の活動やまとめ方をどう仕組むか。」「どうして、という疑問を追求するような活動を期待したい。疑問を解決するために再度見学に行くのか、どなたが講師を依頼するのか。」と実際の活動内容、地域との連携について具体的な動きへつながっていった。商店街のPRなど地域の活性化にもつながる話し合いになっていた。

(イ) 「末崎の子どもたちに育てたい力」(末崎小)

委員による授業参観後、「末崎の子どもたちに育てたい力」について熟議した。学校が提示した下記アンケート結果を踏まえ、児童の成長や育てたい力について話し合った。

## 「まなびフェスト」アンケート 結果のまとめ

R 7. 7. 18

まなびフェストアンケートへのご協力、大変ありがとうございました。皆さんの回答をまとめましたので、ご家族皆さんでよく読んで、改めてお子さん学校生活・家庭生活について振り返ってみてください。

### ☆ 子どもたちの回答から

- アンケートの結果を%で表示しています。
- 次のように色分けをしています。  
 ・・・肯定的な評価が90%以上  
(そう思う、どちらかといえばそう思う)  
 ・・・否定的な評価が20%程度  
(そう思わない、どちらかといえばそう思わない)

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どう思わない どちらかといえば そう思はない	どう思はない	そう思わない
1 自分にはよいところがあると思いますか。	52	38	9	2	
2 周りにいる人のよいところに、気付くことがあると思いますか。	68	27	3	1	
3 末崎には、よいところがあると思いますか。	85	14	1	0	
4 他の人がこまっているときは、助けてあげようと思いますか。	78	21	1	0	
5 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	84	15	2	0	
6 先生や友達の話を、きちんと聞こうとしていますか。	76	22	0	2	
7 友達と一緒に話したり、学び合ったりしていると思いますか。	80	20	0	0	
8 読書に取り組んでいると思いますか。	61	26	9	4	
9 友達や自分の体や健康は、大切なものですか。	88	11	1	0	
10 災害から身を守るために、気を付けていると思いますか。	78	17	4	1	
11 生活習慣をよくしようと、気を付けていると思いますか。	52	37	10	1	
12 目標をもって、運動や体力づくりに取り組んでいると思いますか。	74	22	3	1	

昨年度から成長している点が多く話題に上がり、学校と地域との信頼関係が高まっていた。学校からは次へのステップについて話題にし、地域と共に理解のもと、末崎の子どもたちの目指す姿について、熟議をとおして確認することができた。

#### (4) 地域協働活動の例

##### ア 学校花壇の花苗植え作業（赤崎小学校）

4年生児童と地域ボランティア及び保護者で学校花壇の整備作業を行った。グループホーム後ノ入より提供された花苗をボランティア7名の協力のもと整備した。



##### イ 地域コーディネーターとの連携（越喜来小学校）

地域コーディネーターが毎週火曜日に来校し、担任と打ち合わせを行い、地域の人材活用を調整している。「期日」「場所」「道具」「必要人数」等、打ち合わせを行い、担任が子どもたちと取り組みみたい活動に合わせて、地域コーディネーターが地域の中から協力できる人材を探して調整している。

###### ○1、2年生 秋探し



###### ○3年生 水生生物調査

